

ロック機構付き引き出し (オプション)

使用上の注意

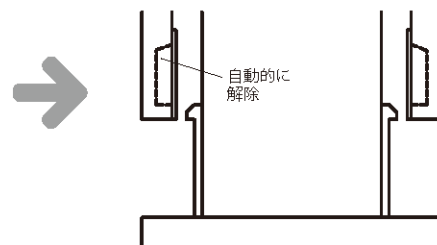
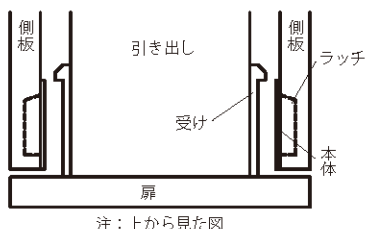
⚠️ 注意

- 地震のあと、傾きが正常に戻れば、ロックが解除されます。
- 本体や受けをむやみに取り外したり、分解しないでください。正常に作動しなくなる恐れがあります。
- ロック機構は収納物の破損を防止するものではありません。
- 引き出しを開けた直後にあけると、わずかな振動でロック機構が作動する場合があります。引き出しはゆっくり開閉してください。
- 本体や受けの間に手などを挟まないでください。ケガをする恐れがあります。
- 本体と受けの間に物を挟まないでください。
- ロック機構本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- キャビネットの設置状況や振動などの状況によっては、性能を十分に発揮できない場合があります。

使い方

※キャビネットの設置状態、収納物の形状や地震の規模、揺れ方によっては、ロック機構が働かない場合があります。

ロック機構の働き (注:通常の使用時においては、ロックは作動しません)



通常時

- ラッチが本体より出てきませんので引き出しの開閉に支障はありません。

※本体は側板に埋め込まれています。

地震のとき

- 地震などの揺れを感知するとロック機構が作動し、飛び出したラッチが受けに引っ掛かり、引き出しが開放するのを防ぎます。ただし、約2~3cmほど引き出しは開きます。

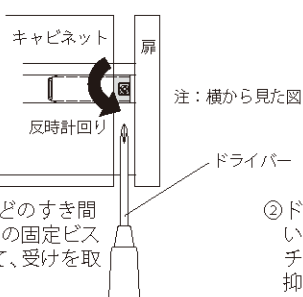
揺れが収まったとき

- 地震の揺れが収まって静止状態になるとロックが自動的に解除されます。引き出しが閉まっているときは引き出しが閉まるまで押してください。キャビネット中の状態を確認しながら静かに引き出しをあけてください。

ロック誤作動時の解除方法 (注:通常の使用時において、この方法を行う必要はありません)

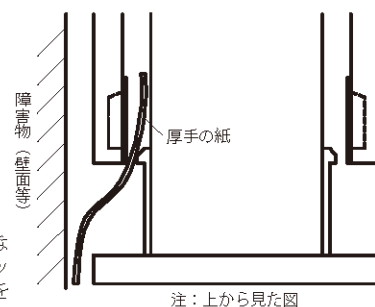
万一、引き出しがロック状態になり開かなくなったときは、下記の方法で強制解除を行ってください。

※収納物の飛び出しにご注意ください。



- ①引き出しを開くと約2~3cmほどのすき間ができます。ドライバーで受けの固定ビスを反時計回りに90度回転させて、受けを取り外してください。

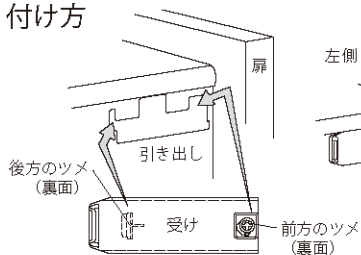
- ②ドライバーが障害物(壁面等)で使えない場合、厚手の紙(広告の紙等)をラッチと受けの間に差し込み、ロック状態を抑制して引き出しをあけてください。



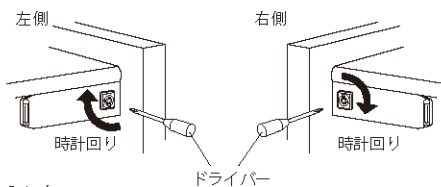
ロック機構は、2度以上の傾きがあるとロック作動します。強制解除後、キャビネットの傾きやグラつきがないことと、取り付け面が凹凸なく水平になっていることを確認し、修正してください。それでも誤作動が起きる場合は新しい物と交換してください。

受けの取り付け方・外し方

取り付け方

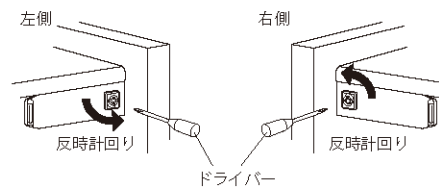


- ①受けの後方のツメ・前方のツメを各々引き出し側面の溝に差し込んでください。



- ②受けの固定ビスをドライバーで時計回りに90度回転させ、引き出しに固定してください。

外し方



- ③受けの固定ビスをドライバーで反時計回りに90度回転させ、受けを外してください。